

記事 Pick Up

- 学園祭報告 ②③
- 工学実感フェア2011 ④
- 情報科学部、知的財産学部で
シンポジウムを開催 ⑤
- Growth Garden完成! ⑥
- 洋弓部が50周年式典を挙行 ⑦
- 大宮、枚方キャンパスで防災訓練実施 ⑧

ひとことメッセージ

If you can dream it, you can do it.(宇宙飛行士の向井千秋さん)。夢を持ちそれを実現させようと努力する。これからの日本、若い皆さんにとって大切なものと思えます。



情報科学部 情報メディア学科 教授
中嶋 鴻毅(専攻:音声・音響情報処理)

およど



学生の成長や大学の発展を期待して名付けられたGrowth Garden(記事は6面)

城北祭 大宮 キャンパス

SHIROKITA FESTIVAL

10.28(金) 29(土) 30(日)

城北祭ベストショット写真集

城北祭のスタートを飾った開祭式

今回は東中庭に豪華な特設ステージが登場。金沢委員長は少し緊張した様子でしたが、熱のこもった開祭宣言を行いました。



迫力のステージ企画、模擬店には行列が

音楽系クラブによる大迫力のステージライブのほか、ストリートダンス部のダンスパフォーマンスなどが次々に展開され、ステージ前はいつもたくさんの人でにぎわいました。また、模擬店には長蛇の列ができ、売り切れるお店があったほど、どこも人であふれていました。

今回の城北祭は、13,300人という過去最多の来場者数となりました。ご来場いただきありがとうございました。

今回のテーマ「CHORD～伝えたいモノ～」には、私たちの思いを多くの方々と共有したいという願いを込めていました。私たちの城北祭を盛り上げたいという思いを文化会・体育会の両本部、応援団、参加団体の方々と共有することができたからこそ、今年の大成功があったのではないかと思います。ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

来年度の城北祭は、さらに楽しめるものとなるよう努力していきますので、来年もぜひご来場ください。

城北祭実行委員会 委員長 金沢隆一(D3)



身が引き締まる演武祭

雨天により7号館1階ピロティでの実施となりましたが、どこで実施しても、道着を着た部員が整列すると、身も心も引き締まるような荘厳な雰囲気を出しました。



満員御礼のよしもお笑いライブ

今回は「南海キャンディーズ」「かまいたち」「桜 稲垣早希」という超人気の3組が登場。東中庭が溢れかえるほどの人・人・人で、授業期間中でも見た事がないような光景が東中庭に広がりました。

城北祭に華を飾る ～アーティストライブ～

城北祭のフィナーレを飾ったアーティストライブ。本誌227号では明らかにされなかった出演アーティストでしたが、登場したのは「EXILEの妹分」として活躍する『FLOWER』とアニメ「ワンピース」の主題歌でデビューした『The ROOTLESS』の2組。

『FLOWER』は、キレの良いダンスとキャンパス中に響き渡る歌声を、「The ROOTLESS」は、迫力のあるバンド演奏と来場者を興奮させるような歌声を披露し、悪天候をも吹き飛ばす、まさにフィナーレを飾るにふさわしいライブとなりました。

ライブ終了後には、実行委員とアーティストとの懇談の機会が設けられ、皆でライブ成功の喜びを分かち合い、中には涙を流して喜ぶ委員もいました。数十分というわずかな時間でしたが、実行委員にとって、一生の思い出に残る貴重なひとときとなりました。



The ROOTLESSとの記念の一枚

2011年度城北祭教室展示各賞審査結果

学術研究部門		芸術系部門		模擬店部門
学長賞	応用化学研究部	学長賞	鉄道研究部	城北祭実行委員長賞
工学部長賞	建築文化研究部	学生部長賞	写真研究部	林ゼミ(揚げアイス)
知的財産学部長賞	機械工学研究部	文化会会長賞	写真研究部 羽柴昂志(R2)	
後援会会長賞	土木文化研究部	後援会会長賞	美術部 和塚浩太郎(A3)	



FLOWERのメンバーが黒板に書き残したメッセージ



北山祭 11.3 救方 キャンパス

KITAYAMA FESTIVAL

被災地支援フリーマーケットと募金活動を実施

台風12号の被災地を支援しようと、留学生も加わった総勢18人の情報科学部の学生が、北山祭でフリーマーケットの出店と募金活動を行いました。リーダーの相原隆志君(IS4)らは「和歌山県や奈良県などの被災地には友達もいる。今の自分たちができることをしたい」と、学生・教職員からフリーマーケットの物品を集めるなど準備を進め、当日はフリーマーケットの売上と募金活動で合計78,931円の支援金が集まり、日本赤十字社に寄託しました。また、この活動は11月4日付の毎日新聞大阪版(朝刊)に掲載されました。



お客さんの多さに人と人の絆を感じました

Oh! ITカーニバル大盛況

情報科学部の各研究室の研究内容を公開した「Oh! ITカーニバル」は大盛況のうちに終了しました。今年も約40の研究室等が1号館1階食堂と2階談話室で設営したブースやエントランスを会場として、人間をセンサーで感知して身体を使ったじゃんけんや、旗上げゲームができるコミュニケーションロボット展示のほか、動画を使った料理のサポートシステム、3D画像を使った四文字熟語の学習ソフト、タッチパッドで操作できるロボットなど多種多彩の研究が展示され、学外から多数の来場がありました。

また教員や後援会役員、ひらかた地域産業クラスター研究会の審査を経て、優秀な研究発表を行った研究室は、閉祭式で表彰されました。受賞した研究室は次のとおりです。

2011年度Oh!ITカーニバル研究発表審査結果

学 長 賞	組込みシステム研究室(荒木講師)
学 部 長 賞	細胞ネットワーク研究室(矢野准教授)
後 援 会 会 長 賞	図形情報研究室(小堀教授)
イノベーション大賞	Computational Vision研究室(シラジ教授)

11月3日に行われました第15回北山祭は、約8,000人もの方々にご来場いただき、大成功という形で幕を閉じました。

“巡り逢えた喜びを伝えよう”という意味の「逢喜」を今年のテーマに、日ごろ言えない感謝の気持ちなどを紙に書いていただき、大きな寄せ書きを作りました。

来年度の北山祭もさらに盛り上げていきたいと思っておりますので、ぜひご来場ください。 北山祭実行委員会 委員長 山本隆博(IC2)



北山祭ピックアップ写真集

ジャグリングの美技に観客大喝采



毎年恒例となったジャグリングのステージには、今年も多くのお客様が集まりました。今年には新しい道具を使ったパフォーマンスもあり、例年以上に大盛況でした。

フリーマーケット 満員御礼



今年も晴天に恵まれ、約200店舗のフリーマーケットが出店しました。出店者との値段交渉に、つつい熱が入ってしまった方もいたのでは?!



売り切れ店 続出の模擬店

今年は14店舗の模擬店が出店され、綿菓子や揚げアイスなど珍しい食べ物も人気を集めました。学生・職員独自の味付けに病みつきになった方は、来年もぜひご来場ください。



じゃんけんロボットに興味津々の子供たち



ブースではさまざまな体感がいっぱい



工学実感フェア2011を開催

城上祭期間中の10月29日、30日の2日間、大宮キャンパスでは「作ろう、日本。創ろう、未来。」をテーマに工学実感フェア2011を開催しました。

工学部学生・教員による約70の体験等のプログラムの出展のほか、ミニソーラーカー、電動四輪バギー、ミニSL蒸気機関車、電気自動車「リーフ」の試乗体験を実施しました。「日本のものづくり力」をコンセプトに展開された今回のイベントでは、「OIT NOW」をはじめ、ものづくりに関わる最新の技術に触れる講演(テクノ・フォーラム)を催しました。防災体験施設や免震体験車は長蛇の列ができるほど好評で、「いざという時役に立つ傘ラジオを作ろう」「お宝ゲット、海賊ロボに負けるな！」などの各出展プログラムも人気がありました。

小・中学生や保護者などを対象に“理科好き”“工作好き”の子どもたちを育てようと昨年に続き実施された工学実感フェア。科学の面白さや工学の豊かさを実感した参加者からは喜びの声が寄せられました。



熱心に聞き入る来場者

水都大阪2011にブース出展

本学は2009年度から始まった水都大阪事業に今回も協賛し、ブース企画やフィールドワークに参加しました。10月29日、30日は大阪市立自然史博物館での特別展「OCEAN! 海はモンスターでいっぱい」で、ものづくりセンターの2足歩行ロボット体験や情報科学部のバーチャルさかな塗り絵など出展しました。また、29日は中之島剣先公園をスタート会場とした「みずウォーク2011」には約1,700人が参加し、ゴールや折り返し地点となる本学の総合体育館を目指しました。同日、体育館内では伊能図フロア展も開催されており、参加者からは「自分は2時間ほど歩いただけ。55歳から17年かけて歩いた伊能さんはすごい」と感想が聞かれました。大学のさまざまな取り組みを広く学外に知ってもらえた2日間でした。



ロボット体験の様子

「完全復元伊能図全国巡回フロア展 in 大阪工業大学」を開催

10月28日～30日、総合体育館で「完全復元伊能図全国巡回フロア展 in 大阪工業大学」を開催しました。江戸時代に伊能忠敬が日本全国を実測して作った壮大な日本地図に2,500人ももの来場者が見入っていました。

特別講演会では伊能忠敬研究会代表理事の星埜由尚氏が伊能忠敬の業績などを講演され、また国土地理院近畿地方測量部のご協力を得て実施した特別パネル展示でも多くの来場者が関心を惹きました。

また本学の独自出展企画として、工学部都市デザイン工学科の吉川教授・田中教授研究室がGISソフトを用いて伊能図と現代図を重ね合わせ、伊能測量隊の軌跡を辿る展示を行ったほか、吉川教授が「高槻城をCGで復元」などをテーマに特別講演を行いました。さらに文化会知財推進部の学生が、伊能測量隊が実測の道中に賞味・鑑賞したであろう伝統的な食べ物や工芸品を保護する地域団体商標に関連するパネル展示を行ったほか、図書館大宮本館では今と昔の測量技術に関する書籍等を展示しました。



来場者は思い思いに地図を踏みしめていました

～みんなで淀川を守ろう！～ 淀川クリーンキャンペーン実施

「淀川学」の取り組みの一環として10月22日、「淀川クリーンキャンペーン」が開催されました。今回で6年目を迎えるこの行事は、旭区役所等の行政・地域団体の協力により、大学と地域連携の環境保護清掃活動として毎年開催されるもので、当日は総勢800人の旭区住民と大工大生が集まりました。参加者は、地域の憩いの場である城北公園を拠点に、赤川鉄橋・本学河川敷グラウンド間を約1時間の清掃を行い、一般ゴミのほか自転車など、4トントラックが一杯になるほどのゴミを集めました。

また、今回は新たな試みとして、大阪府環境農林水産総合研究所水生生物センターの共催により、淀川水系に生息する国の天然記念物に指定されている「イタセンパラ」が展示され、参加者は環境を守る大切さや生物多様性に対する関心を高める機会となりました。



たくさんのゴミが集まりました



「大学における創造的SE教育シンポジウム」を開催

11月16日、枚方キャンパス情報科学部において、「大学における創造的SE教育シンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムは文部科学省に採択された大学教育推進プログラム「SE能力開発のためのスパイラル型情報教育」の一環として開かれたもので、同シンポジウムでは(株)イノベーション研究所代表取締役社長の西岡郁夫氏から、自身の体験をもとにした具体例を挙げながら「良いIT、悪いIT」についての基調講演や、情報科学部教員による同学部での取組みの事例紹介、各界著名人を招いて「次世代を担うシステムエンジニアの育成に向けて」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

当日は学内外合わせて約350人が聴講し、パネリストから「これからもこのスパイラル型情報教育を継続してほしい」など、貴重なご意見をいただきました。



パネルディスカッションの様子

鳥越俊太郎氏講演会

「ザ・スクープ」(テレビ朝日系列)キャスターなどテレビ報道番組で活躍中の鳥越俊太郎氏の講演会「ガン患者が語るガンとの闘い」が12月8日、OITホールで行われました。同講演会は学園卒業生で組織する城北倶楽部が主催し、学内外あわせて約340人の聴講者が集まりました。

自身が闘病していたガンのお話に絡めて、各国でのガン「借金」から世界の財政状況について、昨今の現状やご自身の体験をユーモアを交えて話されました。

後半はガンをわずらった体験を語られ、自身は再発しないように免疫力を高めることを心がけており、「食事」、「睡眠」、「運動」が大切だと述べられると、うなずきメモを取る聴講者も多く、最後まで同氏の語り合いに惹きつけられました。



ユーモアを交えて語る鳥越氏

「第七回日本の伝統芸能体感講座」を開催

11月28日、「第七回日本の伝統芸能体感講座」を大宮キャンパスの学生ラウンジ「ルラッシュ」で開催しました。この講座は、長年受け継がれてきた伝統芸能を身近に感じてもらうことを目的として、学生課と知的財産学部人文社会研究室が共催し開催しているもので、今回で7回目。当日は学生や一般の方など、約130人が鑑賞しました。

今回は、能役者で重要無形文化財(能楽)保持者の味方健氏をはじめ9人の演者を迎え、「能の持ち物」と題してさまざまな演目を披露していただきました。迫力のある演舞を目の前で鑑賞し、参加者は古典芸能の世界を存分に堪能した様子でした。



貴重な経験となりました

知的財産研究科国際シンポジウム開催

11月16日、本学大阪センター(北区梅田)において、知的財産専門職大学院主催の国際シンポジウム「ドイツにおける職務発明と職務著作・ライセンス」が開催されました。今回は本学客員教授(米国ワシントン大学ロースクール教授)の竹中俊子氏をコーディネーターに、この分野で世界的に著名なドイツの研究者、Christoph Ann氏(ミュンヘン工科大学教授)、Jan Bernd Nordemann氏(フンボルト大学名誉教授、弁護士)をゲストスピーカーとして招きました。

井上学長の開会挨拶に続き、第1部では両ゲストスピーカーがそれぞれ専門分野におけるドイツの現状について基調講演を行い、第2部ではこの基調講演をベースに竹中教授、高橋寛教授、重富貴光准教授(弁護士)の本学教員が日米の法制度との相違点などを中心にコメントし、パネルディスカッションを行いました。当日は100人近い大学関係者、弁護士、企業知的財産関係者の聴衆が集まり、メモを取りながら、最後までスピーカーの意見交換に耳を傾けました。最後の質疑応答では予定時間を延長するほどのやりとりが続く中、シンポジウムは成功裡に幕を閉じました。



多くの方が熱心に聞き入っていました

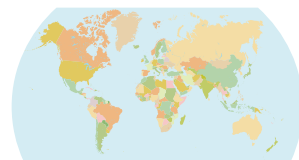
留学生が日本の小学生と交流

本学の外国人留学生が活動する留学生友好会が10月27日、地元旭区の大阪市立大宮西小学校の1年生、5年生の児童たちと交流しました。この行事は児童たちの国際感覚を養いたいという同小学校の申し出に本学が協力して毎年実施しているものです。

参加した留学生は、中国・サウジアラビア・インドネシア・オーストラリア出身の8人の学生で、1年生の児童には「じゃんけん列車」などの遊びを中心に、5年生の児童には留学生の出身国別のグループに分かれて、母国での食事や生活スタイルなどの児童からの質問に答えました。緊張気味でおとなしかった小学生たちも時間が経つとともに緊張もほぐれ、打ち解けた表情に変わっていました。本学の留学生にとっても地元の子供たちと交流を深める良い機会となりました。



子供たちと一緒に楽しく遊びました



熱心な児童たちの質問に答える留学生

Growth Garden完成!

12月、大宮キャンパス1号館北側にコンビニ棟が完成し、名称も学生の成長や大学の発展を期待して『Growth Garden』と決定しました。名称は今年度の4月から5月にかけて学生諸君から募集し採用されたものです。

1階部分はコンビニと談話スペース、建屋の屋上全体は人工芝の植え込みも設けたウッドデッキテラスからなり、開放的な空間になっています。空間の創出にあたっては本学学生から公募を行い、空間デザイン学科の学生が提案したデザイン案が採用されています。

また、Growth Gardenの談話スペースおよびウッドデッキテラスともに飲食が可能であるため、昼食時の利用にも最適です。今後大宮キャンパスの新しい憩いの場として、多くの学生に親しまれることでしょう。



井上学長、田代学科長と、デザインした学生の面々

社会人基礎力育成グランプリ2012 近畿地区予選大会で準優秀賞を受賞

11月24日、日本経済新聞社デジタル営業局主催の「社会人基礎力育成グランプリ2012近畿地区予選大会」が開催され、本学知的財産学部の学生たちの活動が「準優秀賞」に選ばれました。今年度の予選大会には22チームが出場し、本学は知的財産学部の特別課外活動プロジェクト「知財PR隊」で活動する代表メンバー3人と同学科の高田講師が『日本中小企業の底力を取り戻せ!～ネットワーク型ビジネスモデルの実現～』と題して発

知能ロボットコンテストで見事栄冠

10月23日、仙台市科学館(宮城県仙台市)で「第23回知能ロボットコンテスト」が開催され、東北から関西まで計31チームが出場し、本学から出場した松中翔平君(院M1)、浅野裕之君(M4)、佐坂一也君(M4)のチーム「O.I.T.ファルコン Ver.2.1」が、テクニカルコースで見事優勝を果たしました。

テクニカルコースとは、完全自律移動型のロボットが、競技フィールドの中に置かれた3色のボールと、同じく3色の空き缶を拾い集め、色ごとに定められたゴールに分別して入れる競技で、ゴールに入れた個数やスピード、パフォーマンス性などが審査されます。また「完全自律移動型」のため、一度スタートしてしまうとメンバーがロボットに触れることは許されず、ロボットが自ら判断し、指定された作業を実行することになります。

本学チームは、日ごろから地道に重ねた研究と練習の成果を発揮し、「赤ボールキャッチ、ほかにいこか」とロボットが関西弁で話すパフォーマンスも交え、正確な動きを披露しました。



人の助けを借りずに作業する「O.I.T.ファルコン Ver.2.1」

表し、審査員からは高い関心が寄せられましたが、惜しくも全国大会出場は逃しました。

学生たちからは「これまで協力いただいた関係者の方々や指導して下さった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです」と感謝の言葉とともに今後も活動を展開していきたいという意気込みも感じられました。



予選大会で発表する面々

カウンセラーのひとり言 掃除のエネルギー

カウンセラー 山本 有恵

晩秋のある日、師走の足音に迫られたのか、不意に思い立って掃除をすることにしました。キッチンまわりをピカピカにし、壁も拭き(これが存外汚れている)、「どうせなら」と洗剤を使って床まで磨きあげ、冷蔵庫も磨いて中身を整理し、机や棚の上はホコリを払いました。どこもかしてもいつの間にか溜まった汚れがあるのだけど、黒くなった雑巾を見て初めて気付く始末。

ここまで徹底的に掃除をすると「ものすごくエネルギーを使った…」という感じがします。実のところ、掃除にはものすごく心のエネルギーが必要なのです。気分が落ち込んでいるときには部屋も荒れまくりに

…という経験はありませんか?一方で、徹底的に掃除をすると確かにスッキリしていい気分にもなります。つまり掃除はただエネルギーを「消費」するだけのものではなくて、「補充」するものでもあるのです。こういうスッキリ感・開放感を「カタルシス効果」と言います。

溜め込んだ汚れに立ち向かう力と、カタルシス効果で得られるスッキリした充足感…一方通行ではない心のエネルギーの動きを感じつつ、「人間の心って、ホント複雑な動き方をするなあ…」と改めて感じた時間でした。

心理学アラカルト リラクゼーション法

カウンセラー 広部 博美

最近、多くの人々がストレスに満ちた生活を送っているといわれています。ストレスの原因となるものをストレッサーといいます。

このストレッサーは、職場環境だけではなく、学校環境、生活環境などに多く存在します。そして、同じようなストレッサーを経験しても、ストレスの表出にはかなりの個人差があると言われています。私たちは、生活していくうえで、ストレスとうまく付き合っていくことが大切なのかもしれません。そのひとつとして、リラクゼーションと呼ばれるものがあります。呼吸法のひとつで、からだや気持ちをほぐすことに利用できます。その実施法を次にあげるので、折に触れ、やってみてください。

- ①鼻でゆっくり息を吸ってください。一ひとつ、ふたつ、みっつー肺からお腹まで気持ちよく空気で満たします。
- ②静かにやさしく、「私のからだは穏やかに満たされています」と心の中で自分に語りかけましょう。今度は口からゆっくり息をはきますーひとつ、ふたつ、みっつー肺からお腹まで、すっかり息をはききりましょう。
- ③静かにやさしく、「私のからだはほぐれていきます」と心の中で自分に語りかけます。
- ④ゆったりとした気持ちで5回繰り返しましょう。
- ⑤必要に応じて、日中に何度も繰り返してください。



伝統を誇りに ~洋弓部50周年記念式典~

洋弓部が今年で創部50周年を迎え、11月19日に大宮キャンパス研修センターにおいて記念式典を開催しました。式典には、学長をはじめとする学内関係者だけでなく、歴代のOBも列席し、総勢60人が集まり盛大に挙行されました。

式典では、歴代の主将や幹部から、お祝いの言葉と各代の思い出話や現部員への叱咤激励があり、また現主将の長勇樹君(W3)からは「先輩方が築き上げた50年という歴史にはプレッシャーも感じるが、それを誇りに感じ、またそれに恥じないよう精進し、60年・70年と続いていくようなクラブを作っていきたい」と力強い挨拶がありました。

同部は男子が常時1部に在籍し、女子も競技人口が少ない中、常に部員を確保し、好成績を取っています。これからも諸先輩方が築き上げた伝統を継承し、本学の看板クラブとしての発展が期待されます。



今後の抱負を語る長主将



歴代のOBと談笑する現役部員

体育会硬式野球部が快挙!!

硬式野球部が近畿学生野球連盟 I 部リーグで2位という好成績を取めました。

I 部リーグでの2位という成績を取めたのは27年ぶりの快挙です。

同部は2010年春季リーグ時にI部昇格してから、2シーズン戦ってきましたが最下位が続いており、I部リーグの強豪校との戦いに苦戦をしいられていました。

キャプテンの金井佑樹君(P3)は、「I部リーグで勝つためには選手の練習に対する取り組みを変えなければ勝つことはできない」と感じ、練習はもちろん、雑務にいたるまで「キャプテン自ら行動すること」により選手たちの意識に改革を起こしました。

これが結果として、今回の快挙に結びついたのでした。しかし、キャプテンをはじめ、部員たちは今季の快挙に満足せず、来季での優勝そして、最大の目標である全国大会出場が目標であると語っており、今後はますます同部の活躍が目まぐるしく注目されます。

また、I部リーグの『表彰選手』に最優秀投手として棚橋修司君(P3)、ベストナイン二塁手部門に前田大輝君(P3)が選出されました。



多くの声援を背に絶好球を待つバッター

クラブピックアップ

文化会：機械工学研究部

モノづくりの技術を学ぶならここ!

機械工学研究部では、かわさきロボット班、二足歩行ロボット班、相撲ロボット班の3つの班に分かれて活動しています。「機械工学研究部」という名称から、堅苦しい印象を受けるかもしれませんが、みんな仲良く楽しく活動しています。

いちから設計し、自分の思った通りのロボットができた時の達成感を実際に自分で作って見なければわかりません。「ロボット作りって難しそう」「初心者だから無理だよ」と、不安を抱くことはありません。部員の多くが大学に入学して初めてロボット作りを始めました。大勢で協力して作業したり、時には競いあったりして、技術を学び知識を深めています。

機械加工やロボットに興味のある方は、ぜひ総合センター5階機械工学研究部の部室までお気軽にお越しください。また、ホームページもあり、部員の活躍を随時お知らせしていますので、こちらもぜひご覧ください。

<http://kikaikenn.web.fc2.com/>



部長 鈴木智也(M2)



クラブ活動状況報告

今号で掲載しているクラブの他、下表のとおりたくさんさんのクラブがさまざまな行事や大会で活躍しています。今後いろいろなクラブ活動状況をリリースしますので、ぜひご期待ください。

▶文化会

クラブ名	大会・行事名	日程	場所
本部	安全講習会	10月10・15・22日	旭消防署(旭区)
土木文化研究部	橋梁模型コンテスト	11月26日	橋の科学館(兵庫県神戸市)
ボランティア教育研究会	もちもち感謝祭(スタッフ協力)	11月12日	御幸北児童遊園(都島区)
〃	ぼうぶ仕事体験(スタッフ協力)	11月20日	咲くやこの花館(鶴見区)
マンドリン部	定期演奏会	11月26日	旭区民センター小ホール(旭区)
ウインドアンサンブル	定期演奏会	12月11日	OITホール(大宮キャンパス)
クラシックギター部	定期演奏会	12月11日	旭区民センター小ホール(旭区)
知財推進部	完全従元形紙型印刷70周年 大阪工業大学出展協力	10月28~30日	総合体育館(大宮キャンパス)
軽音楽部	定期演奏会	10月2日	am Hall(大阪市北区)
〃	ジョイントライブ	10月9日	THホール(大阪府吹田市)
茶道部	月見茶会	9月30日	総合部室センター茶室(大宮キャンパス)
演劇部	定期公演	12月8~10日	8号館1階コミュニケーションホール(大宮キャンパス)

▶体育会

クラブ名	大会・行事名	成績等
本部	大阪市献血推進大会	感謝状受賞
空手道部	全関西大学空手道選手権大会(2部)	準優勝(1部昇格決定)
〃	秋季八尾市民体育大会空手道の部	有段・形2位・3位/段外・組手2位・3位/有段組手2位
剣道部	創部50周年記念フランス遠征合宿	11月1~7日
陸上競技部	関西学生陸上競技学年別選手権大会	1回生部門200m:7位入賞
〃	川西一庫ダム周遊マラソン大会	5位入賞
〃	神戸YMCAチャリティーラン	優勝
洋弓部	創部50周年記念パーティー開催	11月19日:研修センター
ラグビー部	関西大学ラグビーリーグ(Bリーグ:全10大学)	3勝5敗1分:5位(Bリーグ残留)
サッカー部	関西学生サッカーリーグ(後期)(3部中3部Aブロック:全10大学)	7勝2敗:4位(3部残留)
硬式野球部	近畿学生野球連盟秋季リーグ戦(I部:全6大学)	6勝6敗1分勝ち点3:2位
漕艇部	関西学生秋季選手権大会	女子:シングル・ダブル準決勝進出 男子:フォア準決勝進出・イト総合5位
〃	〃	一般有段男子:3位 一般有段男子:3位
合気拳法部	中日本セーフティ空手道選手権大会	〃
〃	〃	〃
バドミントン部	関西学生バドミントン新人戦大会	シングルB:優勝・準優勝・ベスト8
バスケットボール部	定期戦(VS京都市大学)	1勝1敗

さらば哀しみのドラッグ～NOという勇気をもとう～ 「薬物乱用防止講演会で“夜回り先生”水谷修氏熱演」

12月14日、夜回り先生で有名な水谷修氏を迎え薬物乱用防止講演会を開催しました。

近年、大学生の4人に1人が薬物に関する何らかの関わりがあるといわれているなど若年層の大麻等事件が多発しており、薬物の問題が身近なものになりつつあります。そのような状況下、本学では本年度7月に「薬物乱用防止キャラバンカー」を設置し、多くの学生が見学するなど意識の高さが伺えました。今回の講演会も両キャンパス合わせて（枚方キャンパスは同時中継）250人が押し寄せ、いっぱいになった教室で水谷先生の熱い語り掛けに学生たちは聞き入っていました。

★水谷先生からのメッセージ★

- 薬物は1回の使用で依存症になる。依存症は病気であって愛の力では治せない。抜け出せないのは根性がないからではない。
- 薬物をなくすには、薬物のことをしっかり勉強して本来の姿を知り、NOという勇気をもとう。
- 生命の糸を絶やさず、次の生命へつないでいってほしい。みんなの生命は守ろうとして犠牲になった生命の上に成り立っている。

「ドラッグの魔の手から子供たちを守りたい」という一心で夜回り（深夜の繁華街パトロール）を続ける水谷先生の体経験に基づくりアルな薬物の話。薬物を中心にアルコールに至るまでの危険性、苦しみを考えると同時に大切なことを学んだ生命の授業でした。



真剣な眼差しで訴えかける水谷先生

有事に備え防災訓練を実施

10月4日、大宮キャンパスで、防災訓練を実施しました。大規模地震が起き、それによって火災が発生したとの想定で主に4号館内にいた学生と教職員、合わせて約200人が参加し、熱心に取り組みました。

当日は、旭消防署員が視察する中で、本学と法人本部の教職員で組織する自衛消防隊が、通報連絡、避難誘導、初期消火、設備監視、避難所支援および救出救護の総合訓練を実施。続いて、旭消防署員の指導を受けながら、一般的に普及している加圧式ABC粉末消火器の扱い方を学んだ後、水消火器を用いた消火訓練、屋外消火栓を使用した放水訓練を行いました。

今回の体験が参加者一人ひとりの防火・防災に対する意識の向上につながればと期待しています。



水消火器での消火訓練

枚方キャンパスで防火・防災訓練を実施

11月30日、大規模地震の発生とそれに伴う火災発生を想定した防火・防災訓練を枚方キャンパスで実施しました。今回の訓練は2限目の授業終了直後から開始し、避難訓練を始めとして初期消火、通報連絡、救出救護などの総合訓練が行われ、その後、陸上競技場で水消火器を使用した消火訓練を行いました。

学生・教職員合わせて約1,000人が参加した今回の訓練は、普段の学生生活の中で発生した地震を想定しており、非常時の対応方法や状況判断など、参加者の防災への意識がより高まったと思われます。



水消火器での消火訓練



避難訓練の様子

～あなたの勇気で救える命がある～ 救命救急講習会を実施しました

一人でも多くの方がAED（自動体外式除細動器）を使用でき、いざという時に救命活動ができるようになることを目的として、救命救急講習会を実施しました。この講習会は、12月5日を第1回目として大宮・枚方両キャンパスで合計4回行われ、講師の指導のもと70人の学生が受講しました。

講習会では、AEDの使用法や胸骨圧迫の実技指導のほか、ケガをしたときの止血方法や買物袋を使ったひじの固定方法などを学び、学生たちは熱心に受講していました。



実技講習の様子

工大流就職支援

工大の就職支援の強みのひとつは、学園校友会、城北倶楽部、工大校友会等の卒業生の方々が、後輩のために強力に就職をバックアップして下さるところだ。学内で実施する合同企業説明会の開催やOBリクレーターとして積極的に工大生を支援して下さるのはもちろんのこと、特に採用に関しては理工系大学出身の社長数全国1位が示すとおり、OBが社長の企業も積極的に工大生を採用してくださっている。

先日、OBが社長の、ある会社が学内説明会を実施された。説明

就職 NEWS Vol.03

会の最後に後輩たちに向かって社長さんが言った。「君たち、12月まで就職活動がんばれ。もし決まらなかったら、いつでもうちの会社を受けにおいで」。社長さんの慈愛あふれる言葉が、学生たちの心を打った。12月を待つまでもなく2人の学生が、その社長さんの会社を訪問した。当日は、社長さん自ら学生たちを現場に案内して下さり、2人とも採用して下さった。

就職環境が厳しいにもかかわらず、多くの卒業生の皆様に見守られながら、今年度も工大流就職支援実施中。